

令和 8 年 9 月
生活環境委員会
報告資料

○ 水事情について 1頁

○ 公道下の水道管漏水による事故について 5頁

水道局

水事情について

1 水源状況

(1) 福岡市の水源状況

9月29日午前9時時点の福岡市関連9ダムの合計貯水量（渇水対策容量分を除く）は18,333千 m^3 、貯水率は34.2%

	南畑・五ヶ山・脊振	曲渚	江川	久原	長谷	猪野	瑞梅寺	合計
利水容量(千 m^3)	22,729 (39,329)	2,368	17,324 (24,000)	1,460	4,850	3,650	1,220	53,601 (76,877)
貯水量(千 m^3)	7,089 (20,677)	2,202	1,556 (3,549)	1,097	3,309	2,310	770	18,333 (33,914)
貯水率(%)	31.2 (52.6)	93.0	9.0 (14.8)	75.2	68.2	63.3	63.1	34.2 (44.1)

※ ()は渇水対策容量分含む

※ 江川ダムは、寺内ダム・小石原川ダムと統合運用されているため、渇水対策容量分を除く利水容量・貯水量は現在の各ダムの貯水量比で算出している

(2) 筑後川水系の水源状況

9月29日午前0時時点の筑後川水系関連6施設の合計貯水量（渇水対策容量分を除く）は22,412千 m^3 、貯水率は33.4%

	江川・寺内・小石原川	筑後大堰	合所	大山	合計
利水容量(千 m^3)	48,530 (67,230)	930	6,700	11,000	67,160 (85,860)
貯水量(千 m^3)	8,361 (19,466)	930	3,976	9,145	22,412 (33,517)
貯水率(%)	17.2 (29.0)	100.0	59.3	83.1	33.4 (39.0)

※ ()は渇水対策容量分含む

2 筑後川水系の渇水対応の経緯

(1) 九州地方整備局（河川管理者）の取組み

- 令和8年8月20日：「九州地方整備局渇水対策本部」設置
- " ： 第1次渇水調整（自主節水等）
- 9月3日： 第2次渇水調整（取水制限30%等）
- 9月17日： 第3次渇水調整（取水制限55%等）

(2) 福岡市の取組み

① 対策組織の設置

- 令和8年8月20日：「福岡市水道局異常少雨対策会議」設置
- 9月3日：「福岡市節水推進会議」設置
- 9月17日：「福岡市渇水対策会議」設置

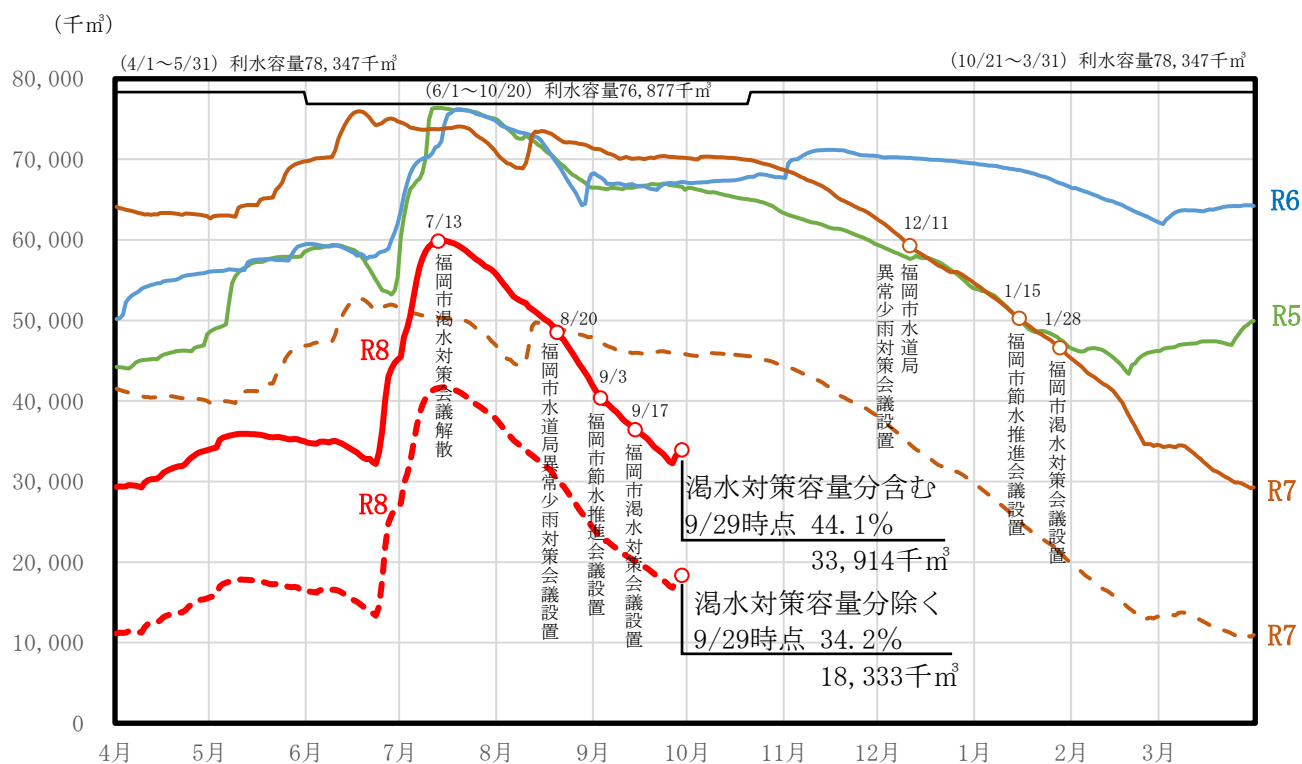
② 水運用の取組み

- 令和8年8月10日：江川ダムからの自主取水制限開始
- 9月4日：配水調整システムによる減圧給水の強化
- 9月18日：配水調整システムによる減圧給水を更に強化

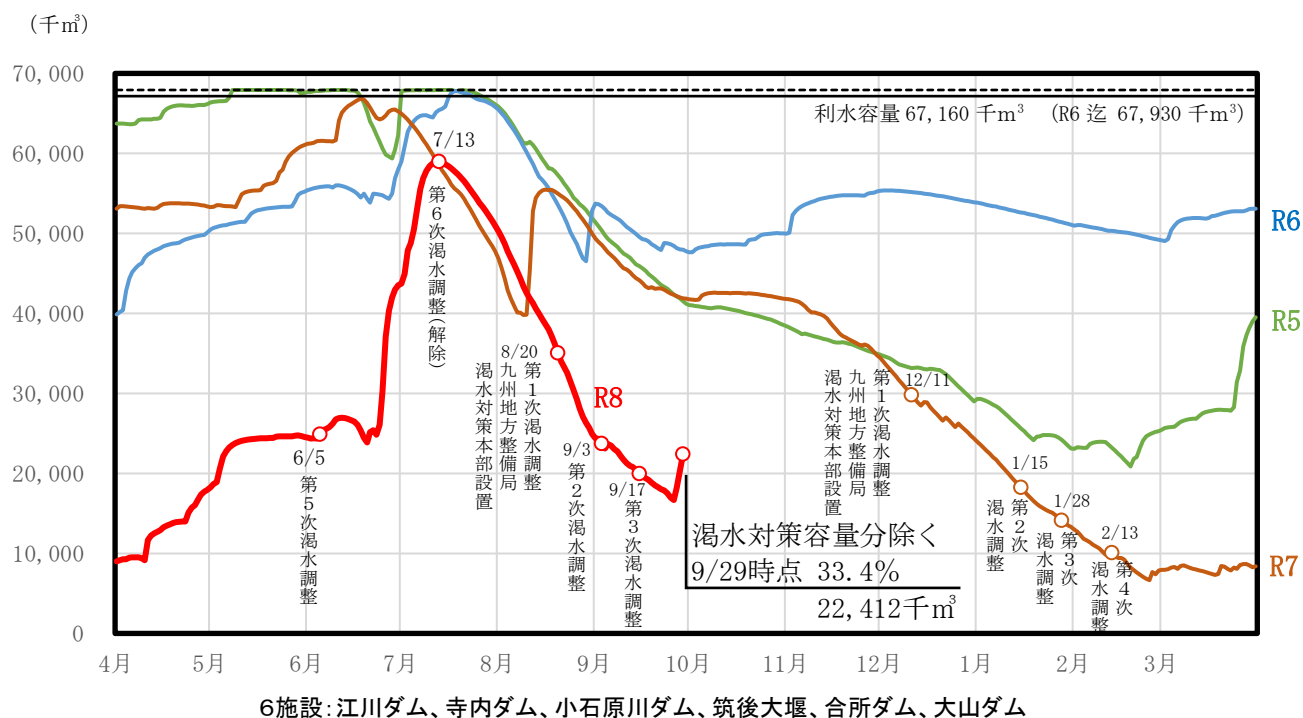
③ 市民への節水広報等の取組み

- 令和8年8月20日：市民への水源情報の提供及び節水PRの実施
- 9月3日：市民への水源情報の提供及び節水PRの強化
- 9月17日：市民への水源情報の提供及び節水PRを更に強化

福岡市関連 9 ダムの貯水状況（渇水対策容量分を含む）



筑後川水系関連 6 施設の貯水状況（渇水対策容量分を除く）

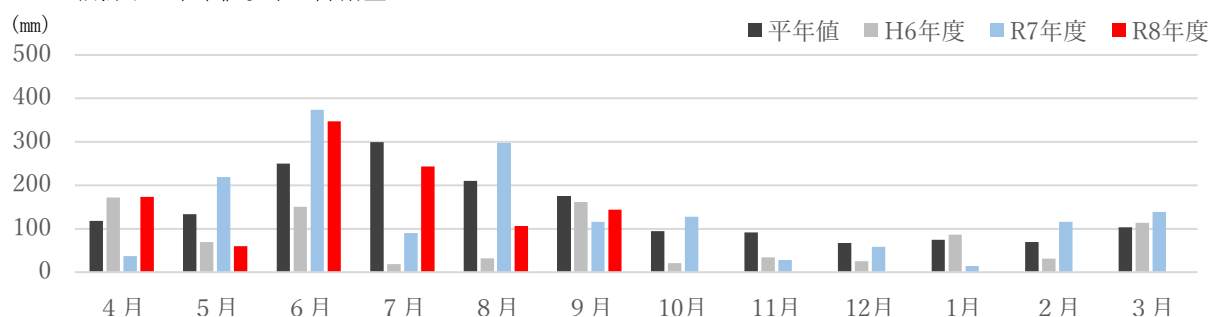


福岡地点の降雨状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平年値 (mm)	118.2	133.7	249.6	299.1	210.0	175.1	94.5	91.4	67.5	74.4	69.8	103.7	1686.9
H6年度 (mm)	171.5	69.5	150.5	18.5	32.0	161.5	20.5	34.0	25.0	86.5	31.0	113.5	914.0
R7年度 (mm)	37.0	219.0	373.5	90.0	297.5	116.0	128.0	28.0	58.5	14.0	115.5	139.0	1616.0
平年比 (%)	31.3	163.8	149.6	30.1	141.7	66.2	135.4	30.6	86.7	18.8	165.5	134.0	95.8
R8年度 (mm)	173.5	59.5	347.0	243.0	106.0	144.0							1073.0
平年比 (%)	146.8	44.5	139.0	81.2	50.5	82.2							

※平年値は1991年から2020年までの30年間の平均、令和8年度は9月28日までの合計値

※網掛けは平年値以下の降雨量

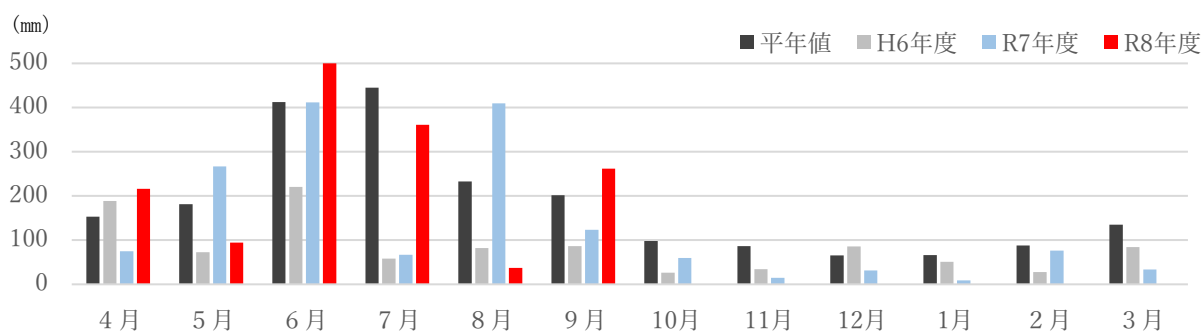


筑後川の降雨状況（瀬ノ下上流域）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平年値 (mm)	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4	66.2	87.9	134.7	2164.8
H6年度 (mm)	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5	50.9	27.8	84.3	1017.5
R7年度 (mm)	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	8.7	76.1	127.2	1670.7
平年比 (%)	49.2	146.9	99.9	15.0	176.1	61.4	60.5	16.7	47.9	13.1	86.6	94.4	77.2
R8年度 (mm)	216.1	94.2	648.9	360.8	37.5	261.7							1619.2
平年比 (%)	141.3	51.9	157.3	81.1	16.1	130.0							

※平年値は1991年から2020年までの30年間の平均、令和8年度は9月28日までの合計値

※網掛けは平年値以下の降雨量



九州北部地方の天候の見通し

	降水量
向こう1か月 (9/26～10/25)	ほぼ平年並
向こう3か月 (10月～12月)	平年並が多い 10月：平年並か少ない、11月：平年並が多い、12月：多い

(出典：気象庁)

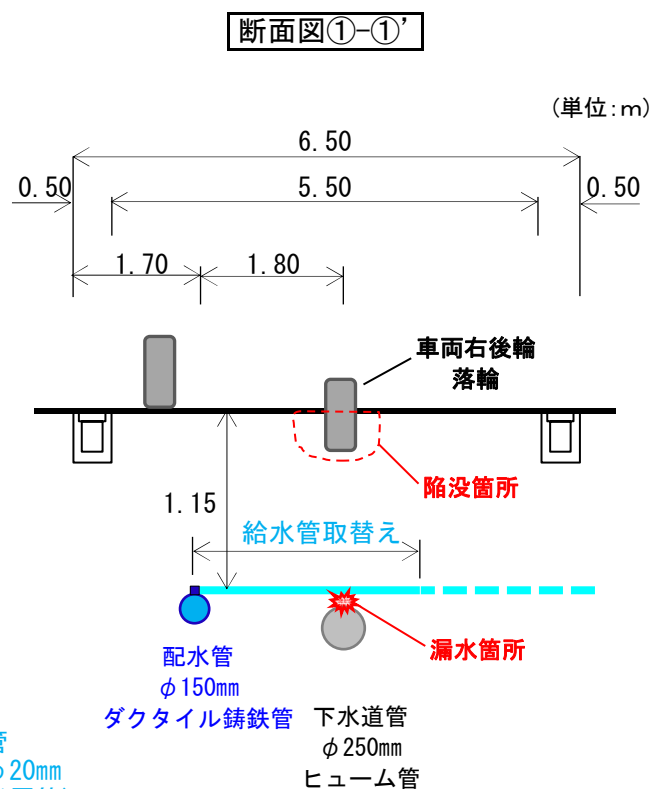
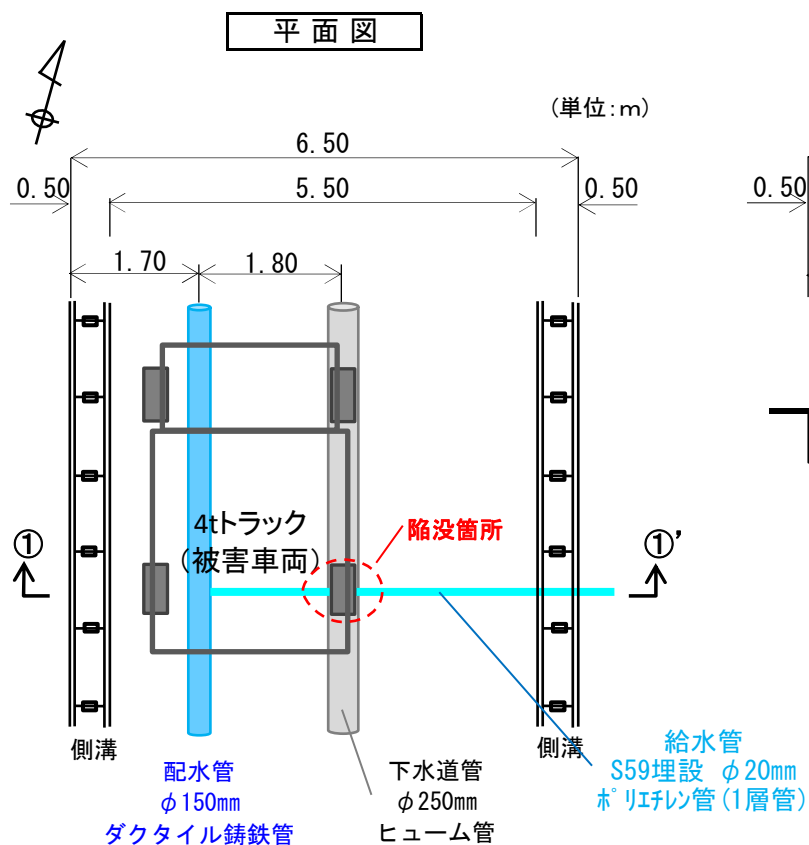
公道下の水道管漏水による事故について

1 発生日時	令和8年8月25日（火曜日） 午前11時30分頃
2 発生場所	福岡市東区〇〇〇〇丁目〇〇番〇号 付近
3 事故の概要	公道下の水道管（給水管）からの漏水に起因するサンドブラスト現象により近接する下水道管を損傷させ、その損傷箇所から周辺土砂が下水道管内へ流入したことで地中に空洞が生じた。 その後、当該箇所を車両が通行した際に車両荷重により道路が陥没し、当該車両の右後輪が陥没部に落ち込んだことにより、人的及び物的損害が生じたもの。 ○漏水した給水管の諸元 口径 20mm ポリエチレン1層管 昭和59年埋設 午後3時30分 緊急工事着手 午後4時30分 漏水箇所確認、修理（取替え）開始 午後4時50分 漏水給水管取替え完了 午後6時30分 仮復旧完了 ○陥没の大きさ 長さ：約1m 幅：約1m 深さ：約0.5m
4 相手方及び損害の内容	（1）相手方 ※ 福岡市情報公開条例に定める非公開情報と認められるおそれのある情報については、掲載しておりません。 （2）損害の内容 ・ 人的損害：事故に伴う負傷〇〇〇〇〇〇 （〇〇〇〇、〇〇〇〇） ・ 物的損害：車両損傷（現在、損傷部分の詳細を確認中）
5 損害賠償	相手方と協議中
6 その他	○損傷した下水道管 口径 250mm ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管） ○損傷の大きさ 直径約30mmの孔 ※損傷部は、モルタル補修により閉塞完了 下水道管の復旧について、道路下水道局と協議中

位 置 図

東区〇〇〇〇丁目〇〇番〇号 付近

※当該地図は著作権法上の規定により、掲載していません。



現場状況

①陥没状況(車両落輪)



②陥没状況(車両落輪)



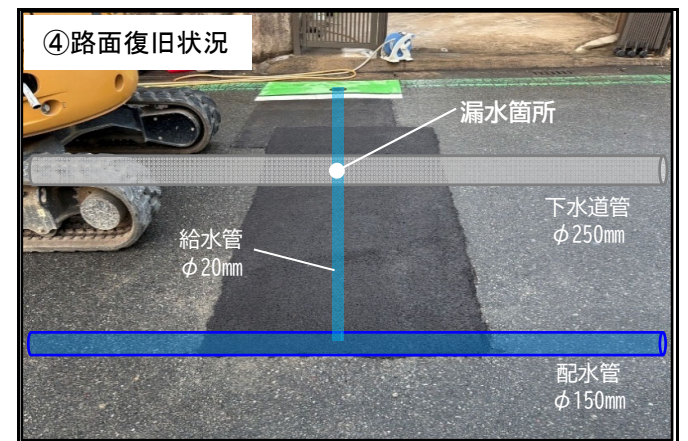
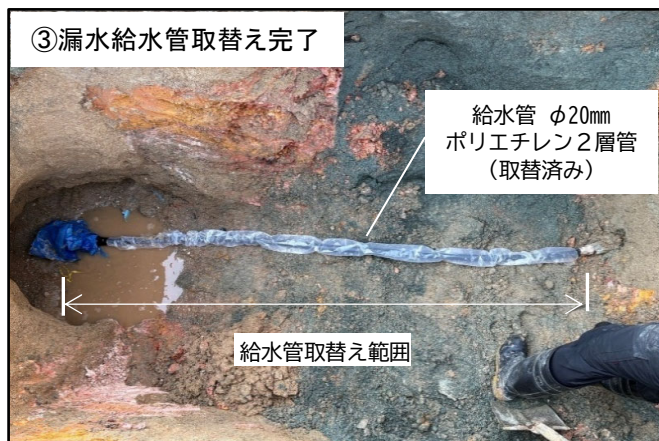
③陥没状況



④給水管漏水に伴う下水道管損傷状況



水道管(給水管)取替え状況



車両損傷状況



下水道管修理状況

